

安全行動調査の手引き

～ヒューマンエラーの傾向を見える化してみませんか？～

中央労働災害防止協会（中災防）

JAPAN INDUSTRIAL SAFETY AND HEALTH ASSOCIATION

全ての働く人々に安全・健康を ～ Safe Work , Safe Life ～

JISHA 中災防
Japan Industrial Safety & Health Association

目次

はじめに

I 安全行動調査について

1 調査の概要	4
(1) 調査票	5
(2) 調査結果	7
(3) 調査結果による取組み	8
2 申込みから調査結果活用までの流れ	9

II 安全行動調査の実施について

1 申込み	
(1) 申込書類について	1 2
(2) 調査実施の条件	1 3
2 調査の実施	
(1) コードの設定	1 5
(2) 調査票の記入項目	1 9
3 料金	
(1) 料金表	2 0
(2) 料金の支払い	2 2
4 個人情報保護	2 2

III 調査結果の見方

1 調査結果資料	2 3
(1) あなたの安全行動診断結果	2 4
(2) 全体集計表	2 5
(3) 妥当性低位者一覧	2 6
(4) 集団集計表と集計グラフ	2 7
(5) 平均グラフ	2 8
(6) 各傾向の点数と段階区分	2 9
(7) オプション	3 0
2 各傾向の見方	
(1) エラー傾向	3 3
(2) パーソナリティー傾向	3 5
3 個人結果の留意事項	3 8

IV 調査結果の活用方法

1 事業場での活用方法	3 9
2 個人の自己目標設定への活用例	4 0
3 活用にあたっての留意点	4 1
4 既存の安全衛生活動への活用	4 2

V 付録

1 Q & A	4 5
---------	-----

はじめに

中央労働災害防止協会（中災防）では、ヒューマンエラー等による不安全行動の防止のための活動に役立つ資料を事業場に提供することを目的に、昭和62年から心理学分野等の専門家及び企業の安全担当者からなる「不安全行動と作業者の心理的要因の調査研究委員会」を設け、労働者のエラー・性格的要因と不安全行動との関連についての調査研究を行い、「安全行動調査手法」を開発しました。

この調査手法では、実施の簡便さにも配慮して、調査票による質問調査方式を採用し、その調査票においては、専門的・抽象的な内容は極力避け、日常的な行動や経験を取り上げ、質問項目を設けました。

開発後の数年間は、事業場での試行及びその結果に基づく手法の改善を重ね、平成9年2月から「安全行動調査」を開始しました。その後、延べ約46万人の方（令和7年4月末現在）に本調査を利用いただいています。

もし事業場においてヒューマンエラー等による不安全行動の頻発に悩んでいる、作業行動災害が急に増えて困っている、というようなことがありましたら、是非、安全行動調査の活用をご検討ください。

I 安全行動調査について

1 調査の概要

日常的な行動や経験を取り上げ、できるだけ日用的な言葉で作成された78の質問による「安全行動調査票」に、「はい」又は「いいえ」の二者択一で回答する質問調査方式を用いて行います。調査票はマークシート形式とExcel形式から選択できます。

回答についてコンピュータによる点数化を行い、「エラー傾向（4種類）」及び「パーソナリティー傾向（性格・行動様式など8種類）」を分析します。分析結果により、本調査時点でその人がどのようなエラーを発生しやすいのか、またエラーの背景となるどのような性格的な特徴があるのかを知ることができます。

質問及び「あなたの安全行動診断結果」については、日本語、英語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語の5ヶ国語に対応しています。各種集計及びオプションについては日本語表記となります。

エラー傾向	① 聞き違い・見落とし ② 勘違い ③ 度忘れ ④ 物忘れ	
パーソナリティー傾向	① 疲れやすさ ② 気の弱さ ③ 根気のなさ ④ いい加減さ	⑤ 自制心のなさ ⑥ 軽率さ ⑦ 協調性のなさ ⑧ 神経質さ

I 安全行動調査について

1 調査の概要 (1) 調査票 1 / 2

調査票には、日常生活での経験等に関する4種類のエラー傾向及び8種類のパーソナリティー傾向についての質問が組み込まれており、この調査の対象者は、各質問の回答欄に自分が該当すると思う答えを「はい」又は「いいえ」に印を付けることにより回答します。所要時間は、10分から15分程度です。

また、この種の調査に回答するときは、自分をよく見せようとする心理が働きやすく、これを強く意識した回答には、正しい結果（妥当性）が出ません。本調査の特色として、このような場合を判定できる妥当性の有無に関する質問も含まれています。



1	むりをするときすぐばてる	_____
2	人前であがってしまつて失態する	_____
3	こつこつと地道にやるのは苦手だ	_____
4	あだてられると、すぐに乗ってしまう	_____
5	カッとなりやすいからだ	_____
6	落ち替えているほうだ	_____
7	誰とでもすぐに打ちとげられる	_____
8	何もやる気にならないことがある	_____
9	よく勘違いをする	_____
10	知り合いだと思つて声を掛けたら、人違いだったことがある	_____

質問例

I 安全行動調査について

1 調査の概要 (1) 調査票 2 / 2

調査票はマークシート形式とExcel形式から選択できます。

(回答用紙のイメージは[15ページ](#)参照)

○ マークシート形式が適しているケース

調査票の記入を一斉に行いたい（例：新入社員研修、安全大会など）

職場に1人1台のPCがない（例：建設現場、店舗など）

社内のセキュリティの制約があり個人データの授受が困難

○ Excel形式が適しているケース

職場に対象者が使用できるPCがある

対象者の職場が複数に分かれている（例：営業所が点在している、テレワークなど）

英語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語で実施する対象者がいる

※Excel形式のほうが回答しやすい

（マークシートの場合は翻訳した設問を見ながら日本語のマークシートに記入）

1 調査の概要 (2) 調査結果

あなたの安全行動診断結果(本人向け)

それらの分析結果を「あなたの安全行動診断結果」として示します。

I 安全行動調査について

1 調査の概要 (3) 調査結果による取組み

調査結果は、示されたエラー傾向、パーソナリティー傾向に関連する不安全行動を防止するための従業員への必要な教育、又は管理監督者が現場で指導を組織的に進めるための資料となります。

また、人は自分のことを自分が一番よく知っていると思い込みがちですが、意外と知らない面もあります。「あなたの安全行動診断結果」から、調査対象者が自分のエラー傾向、パーソナリティー傾向を知ると、「自分で考えていた自分の姿」と「客観的に示された自分の姿」との違いを認識することができるので、ヒューマンエラー等による不安全行動の防止に役立ちます。

I 安全行動調査について

2 申込みから調査結果活用までの流れ 1 / 3

1 利用の検討

↓
本手引きをご一読いただき、内容をご理解の上、ご検討ください。

2 利用の決定及びその準備

↓
後記の II 1 申込み をご了解いただいた上で、事業場としての決定とこれに伴う手続きを行い、申込みのための準備をします。

- 事業場における作業行動災害の発生状況等を踏まえ、その防止の促進を目的に活用計画を作成すること。
- 事業場の長、その他関係者に説明の上、了解を得ること。
- 実施する関係部課の担当者における合意を形成すること。

3 申込み

↓
以下の書類を中災防へ送付してください。

(様式1)申込書

(様式2)実施対象者内訳書

I 安全行動調査について

2 申込みから調査結果活用までの流れ 2 / 3

4 調査票の送付(中災防より)

事業場から申込書等が届き次第、その内容についての確認及びそれに伴う疑問点の照会等を行い、原則として1週間以内に調査票等を必要数送付します。

- 安全行動調査票
- 事業場台帳

5 調査の実施

対象者に対するオリエンテーションを実施した上、調査を実施してください。事後措置として、記載済み回答用紙の内容については、記載漏れのチェックを必ず行ってください。

6 記載済み回答用紙の返送

対象者全員の回答用紙を整理の上、中災防へ送付してください。

なお、その際の送料は、事業場にてご負担ください。

- 送付数等の確認を行ってください。
- 調査票送付時に併せて送付した「事業場台帳」に必要事項を記載し、添付してください。

I 安全行動調査について

2 申込みから調査結果活用までの流れ 3 / 3

7 調査データの分析、調査結果の送付(中災防より)

返送された記載済み回答用紙について、コンピュータ処理を行った上、その分析結果は3週間程度を目安として事業場の担当者に送付します。

ただし、回答用紙における記入漏れがある場合、その回答から2週間を目安といたします。また、対象者の人数が多い場合、少々お時間をいただくことがあります。

8 調査結果の入手及びその活用、調査費用のお支払い

中災防から調査(分析)結果を入手した後、活用計画に基づいて活用をはじめてください。請求書は納品物と併せて送付します。

なお、「調査結果の説明(及び専門家のコメント)」は別途実施後にご請求いたします。

9 効果の評価

結果活用計画書に基づき実施した後、その活用の効果を評価します。

再度、安全行動調査を実施していただきますと、その調査結果と前回の調査結果を比較することで、一層効果的な活用をすることができます。

Ⅱ 安全行動調査の実施について

1 申込み (1) 申込書類について

次の書類を揃えて以下の送付先までご送付ください。

(様式1) 申込書

(様式2) 実施対象者内訳書

※ 中小規模事業場安全衛生活動支援事業により年度内初めて割引サービスを利用される場合、次の書類も添付してください。

労働保険概算・増加概算・確定保険料申告書（事業主控え）の写し

[割引サービスの詳細 → <https://www.jisha.or.jp/chusho/discount.html>]

【送付先・問合せ先】

〒108-0014 東京都港区芝5-35-2
中央労働災害防止協会 技術支援部 安全衛生管理支援課
TEL: 03-3452-6404 FAX: 03-5445-1774
E-mail: ms-kc@jisha.or.jp

Ⅱ 安全行動調査の実施について

1 申込み (2) 調査実施の条件

次の条件に全て同意いただいている場合、申込みを受理します。申込みに当たっての条件で、ご不明な点がございましたら上記までお問合せください。

- 「安全行動調査 利用規約」に記載事項に了承すること。
- 次ページ (3) 申込みに当たっての留意点 に示されている事項に十分配慮し、必要な措置をすること。
- この調査の結果は、安全衛生対策のみに活用し、実施対象者の人事考課等個人の判別には使用しないこと。また、その旨を実施対象者に周知していること。

Ⅱ 安全行動調査の実施について

1 申込み (3) 申込みにあたっての留意点

本調査は一種の性格テストのような側面を持っており、本人の心理的あるいは性格的な傾向が示されます。そのため、プライバシー保護の観点なども含めて事業場において次のことを十分認識し、利用していただくことをお願いします。

- 実施にあたっては、本調査の実施の趣旨、内容、方法、個人情報の管理について、事業場の長、その他関係者に説明の上、了解を得ること。
- 調査結果は、ヒューマンエラー等による不安全行動防止のために有益な情報であり、作業行動災害防止のために活用すべきものであること。
- 対象者に「やらされ感」を持たれないようにするため、作業員だけ実施するのではなく管理者（課長など）も一緒に実施すること。
- 本調査は、不安全行動防止の一助として活用するもので、作業行動災害防止以外の目的（人事考課、配転の資料など）での使用は絶対に行わないこと。

Ⅱ 安全行動調査の実施について

2 調査の実施 (1) コードの設定 1 / 4

調査の対象者に対して、以下の調査票の回答用紙の記載例のとおり、次の3つのコードで自由にグループ分けをすることができます。

〔マークシート形式の回答用紙〕

B:部課コード

C:業務コード

E:雇用形態コード

回答用紙

事業所名

経験年数

業務コード

雇用形態コード

氏名コード

氏名

性別

年齢

フリガナ

氏名

回答欄

〔Excel形式の回答用紙〕

B:部課コード

C:業務コード

E:雇用形態コード

安全行動調査回答用紙

記入方法(別シート)をよく読んでから回答して

(A) 事業所名

(B) 部課コード

(C) 業務コード

(D) 経験年数

(E) 雇用形態コード

年(下2桁) 月 日

Ⅱ 安全行動調査の実施について

2 調査の実施 (1) コードの設定 2 / 4

B：部課コード

対象者の所属する部課名称及びコード番号を表のように任意に指定することができます。調査結果は、このコード番号順に出力されます。

なお、調査結果のオプションで「部課別」をご希望いただくと、このグループ別のエラー傾向、パーソナリティー傾向の集計結果を知ることができます。

※ 2桁の数字「01」～「99」の範囲で事業場独自のグループ分けをすることが可能です。

部課コード(例)

コード	名 称
01	総務部
02	製造部
03	品質管理部
04	安全衛生部

Ⅱ 安全行動調査の実施について

2 調査の実施 (1) コードの設定 3 / 4

C：業務コード

業務コード一覧より、対象者の業務に該当するコードを選択してください。ただし、ここで指定された業務コードに該当しない場合は、事業場の実態に沿って任意に指定することもできます。

なお、調査結果のオプションで「業務別」をご希望いただくと、このグループ別のエラー傾向、パーソナリティー傾向の集計結果を知ることができます。

※ 指定されたコード以外に、2桁の数字「11」～「99」の範囲で、事業場独自のグループ分けを追加することも可能ですので、事前にご相談ください。

業務コード一覧(指定)

コード	名 称	コード	名 称
01	管 理	06	検 査
02	生 産	07	営 業
03	事 務	08	配 送
04	安全衛生スタッフ	09	雑 役
05	研究・開発	10	その他

Ⅱ 安全行動調査の実施について

2 調査の実施 (1) コードの設定 4 / 4

E：雇用形態コード

雇用形態コード一覧より、対象者の雇用形態に該当するコードを選択してください。ただし、ここで指定された雇用形態コードに該当しない場合は、事業場の実態に沿って任意に指定することもできます。

なお、調査結果のオプションで「雇用形態別」をご希望いただくと、このグループ別のエラー傾向、パーソナリティ傾向の集計結果を知ることができます。

※ 指定されたコード以外に、2桁の数字「07」～「99」の範囲で、事業場独自のグループ分けを追加することも可能ですので、事前にご相談ください。

雇用形態コード一覧(指定)

コード	名 称	コード	名 称
01	正社員	04	アルバイト
02	パート	05	派遣社員
03	期間従業員	06	その他

Ⅱ 安全行動調査の実施について

2 調査の実施 (2) 調査票の記入項目

(1) に示したコード以外の記入項目は、次のとおりです。

○ 経験年数

(現在の職務に就いてからの年数です。入社してからの年数ではありません。)

○ 記入日 or 実施年月日

○ 氏名コード (重複がない個人唯一のコードを数字指定)

○ 年齢

○ 性別

(任意項目です。オプションの「男女別」では未記入の方を除いて集計します。)

○ 結果出力言語

(Excel形式のみ。

マークシート形式の場合、言語別に英語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語での出力を希望する方の名簿をご提出ください。)

Ⅱ 安全行動調査の実施について

3 料金 (1) 料金表 (消費税10%込み)

		正規料金		中小割引料金*	
		一 般	会 員	一 般	会 員
基本料金	1～10名(人数に関わらず一律料金)	9,900円	8,910円	6,930円	6,237円
	11～999名 (1名当たり)※1	990円	891円	693円	624円
	1,000名以上 (1名当たり)※1	891円	793円		
オプション料金	管理者用結果プロフィール (1名当たり)	88円	77円		
	グループ別集計※1 ・部課別 ・雇用形態別 ・年齢別 ・男女別 ・業務別 ・経験年数別	各2,200円	各1,980円	各1,540円	各1,386円
	データ出力(7段階評価・CSV形式) (従来のものと同様)	6,600円	5,500円	4,620円	3,850円
	データ出力(5段階評価・Excel形式) (2021年4月から新設)	6,600円	5,500円	4,620円	3,850円
	調査結果の説明 (1回45分まで)※2 (集団集計結果を詳しく説明します)	66,000円	55,000円	46,200円	38,500円
	調査結果の説明及び専門家のコメント (1回60分まで) ※2 (上記に加え、専門的な立場からコメントします)	99,000円	82,500円	69,300円	57,750円

※1 インボイス制度の導入に伴い消費税の端数処理は、税抜き単価の合計に対して消費税の1円未満を四捨五入して算出します。

※2 「調査結果の説明」及び「調査結果の説明及び専門家のコメント」については、オンラインのみの実施とします。

Ⅱ 安全行動調査の実施について

3 料金 ＊中小規模事業場割引サービスについて

常時使用する労働者の数が300人未満の労災保険適用事業場について、調査料金の一部を割引するものです。

年度内で初めて割引を利用される場合、直近の「労働保険概算・増加概算・確定保険料申告書（事業主控え）」（労働基準監督署の受付印が入っているもの）の写しを申込書に添付してご提出ください。

同じ年度内で2回目以降も割引を利用される場合は、申込書に労働保険番号を記入するだけでかまいません。

※ 本割引サービスは、当協会が実施する研修会・セミナーや安全衛生技術サービスの利用に対して費用の一部を補助し、中小規模事業場の安全衛生活動を経済的に支援することにより、これらの利用を促進し、中小規模事業場の自主的な安全衛生活動の促進及び中小規模事業場全体の安全衛生水準の向上を図ることを目的とした事業です。そこで、本支援事業による割引を活用した受講者又は事業者等に対して、当該支援事業の効果の有無を確認するためのアンケート調査を実施することがありますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

※ 本割引サービスの利用において、不正または虚偽が判明した場合は、当該事業場への支援料金の適用を取り消し、支援額の返還を求めることがありますので、ご了承ください。

Ⅱ 安全行動調査の実施について

3 料金 (2) 料金の支払い

調査結果を送付する際に請求書を同封しますので、その中に記載の銀行口座にお振り込みください。なお、振込み手数料は、事業場の負担でお願いします。

申込み時の人数と実際の調査人数が異なる場合、実際の調査人数（中災防へご返送した数量）でご請求します。

4 個人情報保護

ご記入いただいた回答用紙は、受領から6ヶ月間保管後、復元不可能な形にして廃棄します。電子化した個人情報を含むデータは、当協会が責任を持って保管します。ただし、労働安全衛生の向上を目的とする学術研究等のため、特定の個人を識別できないよう匿名化し、利用又は第三者に提供することがあります。

また、事業場におかれても、送付した個人の安全行動診断結果、全体集計表、オプションのデータ出力などについては、個人情報が含まれていますので担当部門が責任を持って保管していただきますようお願いいたします。

Ⅲ 調査結果の見方

1 調査結果資料

次の調査結果資料を全て紙媒体で提供します。

なお、以下の資料は基本料金に含まれています。

- (1) あなたの安全行動診断結果（本人向け結果プロフィール） (P. 24)
- (2) 全体集計表 (P. 25)
- (3) 妥当性低位者一覧（該当者がいる場合のみ） (P. 26)
- (4) 集団集計表 と 集計グラフ (P. 27)
- (5) 平均グラフ (P. 28)

Ⅲ 調査結果の見方

【基本料金】

1 調査結果資料 (2) 全体集計表

対象者全員の結果の一覧表です。全体の表と、部課コードごとに改頁した表を提供します。

全体集計表で示している数字は、各傾向の点数で0～6点まであり、点数が高いほどその傾向が強いことを示しています。個人の安全行動診断結果は、この得点を[29ページ](#)の表を基に傾向を5段階表示に変換したものです。

*** 全体集計表 ***

会社名 : 中央工業株式会社
事業所名 : 中央工場
【事業所全体】

部課コード	部課名	氏名コード	氏名	年齢	性別	業務	経験	雇用	E1	E2	E3	E4	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	1頁
3	製造1課	326	A	30	男	02	02	01	0	0	0	1	2	3	0	3	0	3	3	1	1
3	製造1課	333	B	41	男	02	12	01	2	1	3	1	3	5	1	4	4	5	2	2	0
3	製造1課	337	C	19	男	02	01	01	2	1	2	3	6	3	6	2	4	5	3	4	1
3	製造1課	338	D	26	女	02	04	01	1	0	0	1	0	3	2	0	1	5	3	2	2
3	製造1課	463	E	52	男	02	20	01	1	1	1	3	2	4	1	3	4	1	3	4	2
3	製造1課	465	F	30	男	02	10	01	2	0	2	1	4	6	1	4	4	5	3	4	0
3	製造1課	467	G	32	男	02	07	01	4	2	0	2	2	4	1	4	1	2	1	3	0
3	製造1課	470	H	20	女	02	02	01	3	3	3	5	6	1	5	0	1	0	4	2	3
3	製造1課	476	I	21	女	02	01	01	2	3	2	2	6	4	1	2	1	5	1	1	0
3	製造1課	477	J	25	男	02	05	01	1	0	1	0	0	2	0	2	1	0	1	1	2
3	製造1課	478	K	38	男	02	14	01	0	1	0	0	2	4	1	1	0	1	4	2	1
3	製造1課	479	L	31	女	02	03	01	2	1	0	2	3	1	0	1	2	1	0	2	2
3	製造1課	480	M	29	男	02	05	01	2	1	3	4	3	6	2	3	2	3	5	3	4
3	製造1課	481	N	20	男	02	02	01	1	3	2	4	2	4	2	3	2	0	2	3	2
3	製造1課	482	O	25	男	02	07	01	1	2	1	0	0	5	2	0	3	4	1	5	4

Ⅲ 調査結果の見方

【基本料金】

1 調査結果資料 (3) 妥当性低位者一覧

妥当性は、その点数が高いほど調査票の回答の信頼度が低い（自分を飾って回答している可能性が高い）という指標です。妥当性の点数が4～6点の方を「妥当性低位者」と分類し、一覧表として提供します。

なお、妥当性低位者となった場合は、診断結果の信頼度が低いため、「あなたの安全行動診断結果」の「診断結果から見たアドバイス」は、妥当性とエラー傾向の大小についてのみコメントしています。

*** 妥当性低位者一覧 ***

会社名 : 中央工業株式会社
事業所名 : 中央工場

1頁

部課コード	部課名	氏名コード	氏名	妥当性得点
3	製造1課	480	M	4
3	製造1課	482	O	4
3	製造1課	487	S	5

Ⅲ 調査結果の見方

【基本料金】

1 調査結果資料 (4) 集団集計表と集計グラフ

*** 集団集計表 ***

会社名 : 中央工業株式会社

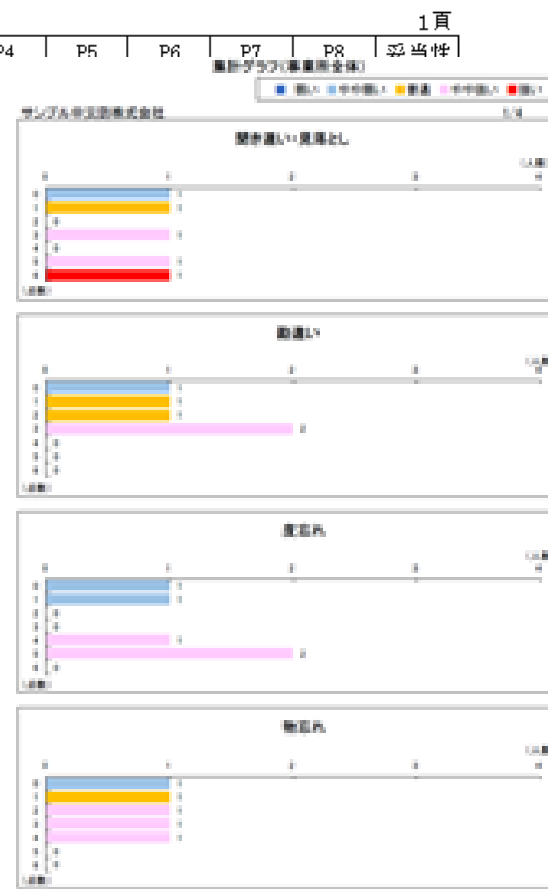
事業所名 : 中央工場

【事業所全体】

コード	事業所全体	点数	E1	E2	E3	E4	P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	妥当性
	中央工業株式会社 中央工場	0	46	38	33	70	58	15	69						
		1	45	43	30	55	41	24	46						
		2	37	44	26	41	24	29	37						
		3	31	49	36	24	25	26	32						
		4	21	27	42	23	20	38	22						
		5	35	25	39	16	32	45	17						
		6	21	10	30	7	36	59	13						

集団集計表は、(2)の全体集計表から各傾向と点数の分布を示した表です。表中の数字は、各傾向の点数分布を人数で示したものです。

集計グラフは、集団集計表を傾向ごとにグラフで表示し、29ページの表の5段階表示に従って色分けしたものです。



Ⅲ 調査結果の見方

【基本料金】

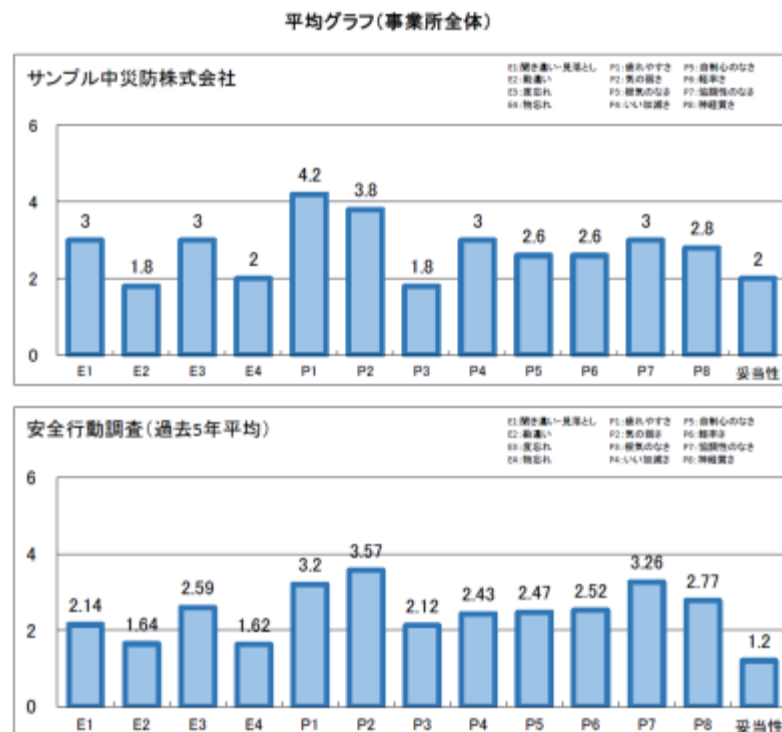
1 調査結果資料 (5) 平均グラフ

事業場全体の各傾向の平均点を示したグラフです。

比較対象として、直近の5年間に安全行動調査を実施した全ての方の結果から算出された平均点も表示しています。

貴事業場の傾向把握の参考としてください。

なお、(4) (5) の集計においては、妥当性低位者（妥当性が4～6点の方）の結果を除いています。ただし、「妥当性」自体の集計については、全ての方の結果を含んでいます。



Ⅲ 調査結果の見方

1 調査結果資料 (6) 各傾向の点数と段階区分

「エラー傾向」と「パーソナリティー傾向」の各傾向の点数（0～6点）を、5段階で表示するための区分です。

この段階区分は傾向ごとに統計的手法を使って決めていますので、例えば同じ0点でも、ある傾向については「弱い」、別の傾向については「やや弱い」という異なる段階に区分される場合もあります。

〔エラー傾向〕

		弱い	やや弱い	普通	やや強い	強い
E 1	聞き違い・見落とし		0	1 2	3 4 5	6
E 2	勘違い		0	1 2	3 4	5 6
E 3	度忘れ		0 1	2 3	4 5	6
E 4	物忘れ		0	1	2 3 4	5 6

〔パーソナリティー傾向〕

				普通			
P 1	疲れにくい		0 1	2 3 4	5	6	疲れやすい
P 2	気が強い	0	1 2	3 4	5	6	気が弱い
P 3	根気がある		0	1 2	3 4 5	6	根気がない
P 4	丁寧		0 1	2 3	4 5	6	いい加減
P 5	自制心がある		0 1	2 3	4 5	6	自制心がない
P 6	慎重		0 1	2 3 4	5	6	軽率
P 7	協調的	0	1	2 3	4 5	6	自己中心的
P 8	寛容	0	1	2	3 4	5 6	神経質

〔妥当性〕

	あり	普通	なし
妥当性	0 1 2	3	4 5 6

Ⅲ 調査結果の見方

【オプション料金】

1 調査結果資料 (7) オプション 1 / 3

① 管理者用結果プロフィール

対象者本人に配布する「あなたの安全行動診断結果」の、管理者用の写しをご提供します。

写しの閲覧権限や管理体制については、調査を実施する前に社内で決めていただき、それに従って厳重に管理してください。

また、対象者本人に対しても調査を実施する前に写しの閲覧権限や管理体制を明示し、同意を得るようにしてください。

② 集団別集計（紙媒体）

「部課別」「雇用形態別」「年齢別（5歳区切り）」「男女別」「業務別」「経験年数別（5年区切り）」の中からご希望の集団について集計し、（4）集団集計表と集計グラフ、（5）平均グラフを提供します。

Ⅲ 調査結果の見方

【オプション料金】

1 調査結果資料 (7) オプション 2 / 3

③ データ出力

対象者全員の調査結果と、「あなたの安全行動診断結果」に記載された「診断結果からみたアドバイス」をCD-Rに保存して送付します。保管用データとしても適しています。ア、イから使用目的により選択してください。

(従来のデータ出力と同様のものは「ア 7段階評価・CSV形式」です。)

ア 7段階評価・CSV形式 (従来のデータ出力と同様のもの)

(2) 全体集計表のデータです。事業場で任意のグループについて集計し、その傾向を把握するためにご利用いただけます。

	事業所コード	会社名	事業所名	部課コード	部課名	氏名コード	氏名	年齢	性別コード	性別	業務コード	業務名	経験	雇用コード	雇用名	E1	E2	E3
1	7777777	サンプル中	田町工場	1	勤労課	900001	中央 花子	54	1	女	2	生産	16	1	正社員	0	0	
2	7777777	サンプル中	田町工場	1	勤労課	900004	中央 三郎	38	0	男	2	生産	3	1	正社員	6	3	
3	7777777	サンプル中	田町工場	1	勤労課	900005	中央 桃子	34	1	女	1	管理	11	1	正社員	5	3	
4	7777777	サンプル中	田町工場	1	勤労課	900006	中央 吾郎	57	0	男	2	生産	43	1	正社員	0	0	
5	7777777	サンプル中	田町工場	2	製造一課	900002	中央 太郎	28	0	男	1	管理	28	1	正社員	0	0	

Ⅲ 調査結果の見方

【オプション料金】

1 調査結果資料 (7) オプション 3 / 3

イ 5段階評価・Excel形式 (2021年4月から新設)

アのデータを、[29ページ](#)の表に従って5段階評価に変換したデータです。「あなたの安全行動診断結果」に表示された結果を一覧表で確認することができます。

また、表の右端の区分は赤色、パーソナリティ傾向の左端の区分は青色に色分けしており、注意が必要な傾向が一目でわかります。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U		
1	事業所コード	会社名	事業所名	部課コード	部課名	氏名コード	氏名	年齢	性別コード	性別	業務コード	業務名	経験	雇用コード	雇用名	聞き違い	聞き違い	度忘れ	物忘れ	疲れやすさ	気の弱さ	根	
2	7777777	サンプル中:	田町工場	1	勤労課	900001	中央 花子	54	1	女	2	生産	16	1	正社員	やや弱い	やや弱い	やや弱い	やや弱い	やや疲れにくい	普通	やや気が弱い	や
3	7777777	サンプル中:	田町工場	1	勤労課	900004	中央 三郎	38	0	男	2	生産	3	1	正社員	強い	やや強い	やや強い	やや強い	普通	やや疲れにくい	やや気が強い	や
4	7777777	サンプル中:	田町工場	1	勤労課	900005	中央 桃子	34	1	女	1	管理	11	1	正社員	やや強い	やや強い	やや強い	やや強い	疲れやすい	気が強い	やや気が強い	や
5	7777777	サンプル中:	田町工場	1	勤労課	900006	中央 吾郎	57	0	男	2	生産	43	1	正社員	やや弱い	やや弱い	やや弱い	やや弱い	やや疲れにくい	気が強い	やや気が強い	や
6	7777777	サンプル中:	田町工場	2	製造一課	900002	中央 太郎	28	0	男	1	管理	28	1	正社員	やや弱い	やや弱い	やや弱い	やや弱い	やや疲れにくい	気が強い	やや気が強い	や
7	7777777	サンプル中:	田町工場	2	製造一課	900003	中央 次郎	57	0	男	2	生産	1	1	正社員	やや強い	普通	やや強い	やや強い	疲れやすい	普通	やや気が強い	普
8	7777777	サンプル中:	田町工場	2	製造一課	900008	中央 六郎	58	0	男	2	生産	42	1	正社員	普通	普通	やや弱い	普通	やや疲れやすい	普通	やや気が強い	普

Ⅲ 調査結果の見方

2 各傾向の見方 (1) エラー傾向 1 / 2

以下の各エラー傾向について、分析結果から示された程度（傾向）を把握します。

ア 聞き違い・見落とし（受容・確認エラー）

「聞き違い」、「見落とし」等により間違って情報を受け止めたり、早合点することにより起きるエラーのことです。

このエラーを防止するためには、例えば、復唱や再確認をすること等とともに、職場の作業環境において騒音や照明など問題がないかを見直すこと、掲示等の内容を見やすくすること、放送を聞きやすくすること等の措置を講ずると効果があります。

イ 勘違い（習慣行動エラー）

よく知っている環境や慣れた仕事で、あるいは心配事があるときにしやすいエラーです。

このようなエラーの防止には、例えば、指差呼称を行い、確認・点検を怠らないようにすると効果があります。なお、「判断の甘さ」のような未熟さや認知のゆがみには、トレーニングや教育を実施することが効果的です。

Ⅲ 調査結果の見方

2 各傾向の見方 (1) エラー傾向 2 / 2

ウ 度忘れ（意識中断エラー）

「用件を言い忘れ」たり「物を探しまわる」ようなエラーのことです。一般に「度忘れ」と呼ばれるものです。時間がないとき、トラブルが生じたとき等のように慌てたときに起きやすくなります。

このエラーを防止するためには、例えば、職場において安全標識を使用すること、掲示・伝言板等を活用すること等の対策を実施すると効果があります。

エ 物忘れ（忘却エラー）

「物を置き忘れ」たり「落とし物をする」など「ウッカリボンヤリ的」エラーのことです。1つのことに気を取られていると、ほかの大切なことを忘れてしまいがちです。

このようなエラーを防止するためには、例えば、メモを取っておくこと、作業前に一呼吸入れること等の対策を実施すると効果があります。

Ⅲ 調査結果の見方

2 各傾向の見方 (2) パーソナリティー傾向 1 / 3

以下の各パーソナリティー傾向について、分析結果から示された程度（傾向）を把握します。

ア 疲れやすさ

「気が重い」「体がだるい」等の心身両面の疲労の度合いです。

身体的現象となりますが、これには、作業環境、労働条件その他社会的な問題が背景にあります。

イ 気の弱さ

「人前で自分の意見が言えない」とか「引っ込み思案」等の性格傾向で、消極的とも言われるものです。

このような性格の人は、精神的余裕がなく、視野が狭い面があるため、突発的な事態、異常の場面で機敏に適切な対応を取ることが不得意で、また、ほかの人との連絡にも躊躇しがちになることがあります。

Ⅲ 調査結果の見方

2 各傾向の見方 (2) パーソナリティー傾向 2 / 3

ウ 根気のなさ

「忍耐力がない」「飽きっぽい」「頑張りが続かない」と言った性格傾向です。

このような性格の人には、長時間作業、繰り返し作業、単調作業において安全に必要な注意力が持続できない、という傾向があります。

エ いい加減さ

「慣れ」等から「大丈夫だろう」と簡単に処置しようとする性格傾向です。自信過剰、強がり、見栄っ張りあるいは向こうみずの人に多くみられます。

このような性格の人は、ついつい無理をしがちであること、あるいは慎重さに欠けること等から自らトラブルを招いてしまうおそれがあります。

オ 自制心のなさ

「感情」や「欲望」を一時的に抑えられず「衝動性が強い」性格傾向です。

このような性格の人には、情緒不安定であること、イライラすること、物事をくよくよ考えること等の傾向が認められ、注意力の集中や持続ができないおそれがあります。

Ⅲ 調査結果の見方

2 各傾向の見方 (2) パーソナリティー傾向 3 / 3

カ 軽率さ

「考える前に行動する」、「十分確認せず早合点する」等の性格傾向です。

このような性格の人は、細心さ、緻密さに欠ける面があるため、連絡や確認を怠るおそれがあり、また、自分が置かれている作業環境や守るべき作業条件等をあまり考えずに行動しがちです。

キ 協調性のなさ

「自己中心的」なタイプで、「社交意欲が乏しい」性格傾向です。自分の殻に閉じ込めるような人に多くみられます。

このような性格の人は、ルール、慣行等を守らないおそれがあります。

ク 神経質さ

「物事に丁寧」で「きちょうめんな」性格傾向です。心身の調子や人の些細な言動を気にする人に多くみられます。

このような性格の人は、安全に必要な注意に対する集中力や持続力に欠けるおそれがあります。

Ⅲ 調査結果の見方

3 個人結果の留意事項

- (1) この調査により判明したパーソナリティー傾向は、対象者の調査時点の特性が反映されていることに加え、本人の職場における経験や環境等も影響しています。そのため、パーソナリティー傾向は、環境条件等との関係によって変化することをご理解ください。

- (2) この調査結果は、心理学的な面から統計的手法及び専門家から見たデータを活用して、人の性格の特定の部分に着目して得られたものです。よって、対象者本人の性格がすべて示されているというのではなく、限界があることもご理解の上、自己啓発、日常的な安全衛生活動の改善のための参考資料としてお使いください。

IV 調査結果の活用方法

1 事業場での活用方法

調査結果の活用方法は、中災防として、こう使うべきというものはありません。各事業場（職場）の職場風土、構成などを勘案し、その活用方法を事業場内部で自主的に検討していただく必要があります。例えば、各職場のミーティングで自分の調査結果を発表し、今後の行動目標を宣言するといった活用方法を検討した場合、効果が出るためには何でも話せる職場風土、雰囲気が存在することが前提条件となります。それがないのに無理にこのような活用方法を実施すると逆効果になることも考えられます。

また、調査結果の活用の効果は、実施後、すぐに出るものではありません。地道に安全衛生活動の中で活用していくことで、徐々に効果が現れてくるものと考えています。

IV 調査結果の活用方法

2 個人の自己目標設定への活用例

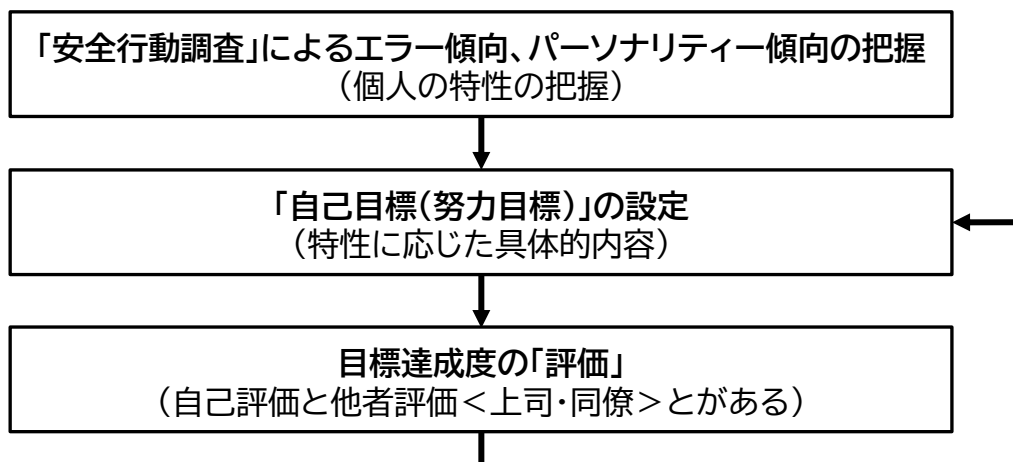
調査結果をもとに各人が自己目標（努力目標）を設定し、意識的に安全行動を心掛けるという活用方法があります。この「自己目標」には、自身の行動目標もありますし、監督者の場合は、部下の指導目標も含まれます。この「自己目標」については、一定期間後に到達度を評価し、見直すことが重要となります。

自己目標の設定、見直しについては、各個人に任せる方法、小集団活動の中で発表しながら相互に安全行動を目指す方法などがあります。各職場の風土によっても異なりますが、後者の方がより効果的な方法と考えられます。

この自己目標の設定について留意すべき事項は次のとおりです。

- 到達目標を明確にすること。
- 目標表現はできるだけ限定的で具体的な「行動を示す」ものとする。

例) ・**を動かす（操作する）前には、
一呼吸おく
・**を行う前に必ず指差呼称する



IV 調査結果の活用方法

3 活用にあたっての留意点

調査結果を作業行動災害防止に活用するにあたっては、次のことに留意が必要です。

- (1) 作業者によるヒューマンエラー等による不安全行動の発生の可能性を、作業者本人及び管理監督者のそれぞれの立場から少なくするための手法とすること。
- (2) 個々の作業者が、自分のエラー傾向、パーソナリティー傾向を十分に自覚し、日常の業務においてヒューマンエラー等による不安全行動をできるだけ避けるように心掛けること。
- (3) 管理監督者は、作業者のエラー傾向やパーソナリティー傾向を考慮し、その作業環境等についてハード及びソフトの両面から必要な措置を講ずる等、管理することにより部下のヒューマンエラー等による不安全行動をできるだけ防止すること。
- (4) 本調査を実施したから「不安全行動」が減少するといったものではなく、従来から行っている日常的な安全衛生活動（TBM、KYT、ヒヤリハット等）の効果を一層高めるために、その実施方法の改善等に活用すること。

IV 調査結果の活用方法

4 既存の安全衛生活動への応用 1 / 3

この調査結果を日常の安全衛生活動の中で活かし、ヒューマンエラー等による不安全行動の防止に役立てる方法で、事業場において既に利用されているものとして、以下の活用方法があります。

なお、以下のWebページから詳細な活用事例集をダウンロードできます。

<https://www.jisha.or.jp/oshms/survey/case.html>

1 日常的な教育、指導の充実

調査の実施結果から分かった、4種類のエラー及び8種類のパーソナリティーの各傾向において強く認められたものに関連したヒューマンエラー等による不安全行動をできるだけ回避、減少させるため、現場における日常業務の実施において管理監督者が、その調査結果を踏まえ、作業者に対し助言、指示等を行うこと。

2 TBM(Tool Box Meeting)の活性化

TBM（朝礼を含む。）の際に、管理監督者は、調査結果による部下の特性に応じ、例えば「気が弱い」作業者に対し発言できるようにしてあげる一方、作業者は、例えば、安全衛生手帳に自分の調査結果（強い傾向の認められたエラー及びパーソナリティー）を記入しておき、自ら調査結果を踏まえ、その日の作業のために心掛けるべき安全行動を確認する等により、TBMの意義を一層高めること。

IV 調査結果の活用方法

4 既存の安全衛生活動への応用 2 / 3

3 危険予知活動への活用

危険予知活動、特に一人KYTの場合には、本人が調査結果から分かったエラー、パーソナリティー等の特性を自覚しながらKYTを行うことにより、本人にとってより本質的な危険のポイントを絞り込むことができるので、大きな効果が期待できること。

4 ヒヤリハット活動への活用

ヒヤリハットは、現実には労働災害とはならなかったものの、ヒューマンエラー等による不安全行動に係わる作業者の体験であるから、作業者は、そのようなヒヤリハット事例の活用により、安全な作業行動を取る可能性を高めることができる。このヒヤリハット事例の検討において、その体験者である作業者の作業環境、作業条件、人間関係等と調査結果から分かっている本人の特性を突き合わせて分析することにより、ヒヤリハット事例のより効果的な活用が期待できること。

IV 調査結果の活用方法

4 既存の安全衛生活動への応用 3 / 3

5 災害調査への活用

労働災害の発生原因等の検討において、被災労働者の作業環境、作業条件、人間関係等と調査結果から分かっている本人の特性を突き合わせることで、その発生原因の究明の一助になる可能性があること。

ただし、その際、被災労働者にヒューマンエラー等による不安全行動があったと認められたときでも、人はミスをするという前提で、機械設備等に対する不十分な安全措置等がなかったかどうかという視点での再発防止対策の検討が不可欠である。

6 新入社員等の安全衛生教育の改善

新入社員や配置転換者についての調査を実施した上で、例えば、管理監督者がその調査結果を踏まえた入社時等の安全衛生教育を実施することにより、ヒューマンエラー等による不安全行動を防止するため、より効果的なものにすることが期待できること。

7 個人目標設定による安全活動の実施

小集団活動等の中で、又は安全衛生担当者の指導の下に、調査結果により把握されている特性を基に労働者各人が自己目標（努力によって到達すべき目標）を設定し、一定期間後に到達度を評価し、見直すことを通じて、この労働者が意識的に安全行動を取ることができるようになることが期待されること。

V 付録

1 Q&A 1 / 2

これまで多かった質問について、以下に質疑応答の形で参考にお示しします。

Q： 回答形式が「はい」か「いいえ」の2者択一法ですが、「どちらともいえない」という選択肢も必要ではないでしょうか？

A： 「どちらともいえない」という回答がありますと、回答者が無難な選択肢として、これを選びがちになり、これによって調査結果に歪みが生じやすくなります。また、選択肢が多くなりますと回答者の疲労が増し、やはり調査の信頼性を低下させるおそれがあります。このような理由から、この調査票では「どちらともいえない」を除いた2者択一法を採用しています。

Q： 「安全行動調査」で、どのような結果になれば「安全な人間」といえるのでしょうか？

A： この調査結果は、本調査を受けた人がその調査時点でどのようなエラー傾向、パーソナリティー（性格）傾向を持っているか等を表すものです。安全行動調査は、そのような特定の切り口で個人の特性をみるもので、その人のすべてが分かるというものではありませんから、「安全な人間」か「不安全な人間」を判定できるというものではありません。

V 付録

1 Q & A 2 / 2

Q： 人の性格は変えることができるのでしょうか？

A： 人の性格は、自らの意思によって自由に変えるというわけにはいきませんが、生活、職場環境等によって多少変化し得るものといわれております。安全行動調査は、人の性格を変えるため何らかの手段を講じることを目的に行うものではなく、人のエラー、性格面の傾向を知って、これを不安全行動を回避するために役立てるものです。

Q： 構内協力事業場と一緒に実施することはできますか？

A： 安全衛生活動への取組みを一緒に進める構内協力事業場と一緒に実施することは可能です。
その場合は、構内事業場に対しても、この調査の結果は安全衛生対策のみに活用し、実施対象者の人事考課等個人の判別には使用しないことを十分に周知する必要があります。

お申込み・お問合せ先

調査費用のお見積りやサンプルのご依頼も承ります。

〒108-0014

東京都港区芝5-35-2

中央労働災害防止協会 技術支援部
安全衛生管理支援課

TEL 03-3452-6404

FAX 03-5445-1774

E-mail ms-kc@jisha.or.jp